

もやもや病患者における術後 Transient Neurological Events 発症のリスクについての検討

◆ 研究の対象となる方

2022年4月1日から2025年5月31日までに済生会福岡総合病院脳神経外科でもやもや病に対して複合血行再建術を行った方

◆ 目的・方法

もやもや病患者に対する血行再建術後、一過性神経症状 (Transient Neurological Events: TNE) が観察されることがある。TNE の病態については、局所的な過灌流か低灌流かなど議論があるものの、未だ不明な点が多い。近年、術後 MRI FLAIR 画像における cortical hyperintensity belt signs (CHBs) が TNE 発症予測に有効とする報告がある。CHBs は血管原性浮腫に関連するとされており、我々は、CHBs の出現および罹患期間との関連に着目し、もやもや病に対して複合血行再建術を施行した症例において、TNE の発症と画像所見や患者背景との関連を検討する。もやもや病術後の TNE 発症に、CHBs の出現が関与するだけでなく、罹患期間の長さも独立したリスク因子である可能性が示唆され、周術期の管理においても重要な情報になり得ると考えている。

◆ 研究に使用する情報

年齢、性別、既往歴、罹患期間、神経症状など診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはありません。

◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

| | |
|--------|--|
| 問い合わせ先 | 福岡県済生会福岡総合病院 脳神経外科 梶原 壮翔 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表) |
|--------|--|

以上